

未来を担う10代に知ってほしい。性別による無意識の思い込み。

ジェンダー平等のカギはリーダーシップ

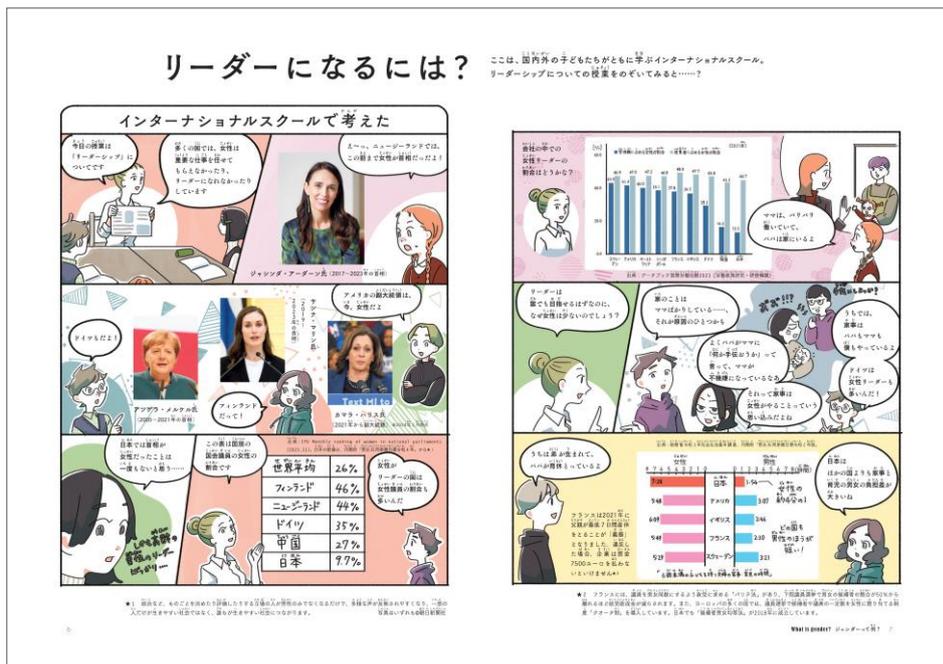
ポーラ、「10代のためのジェンダーの授業」冊子、第3弾発行

「おしごと年鑑※」特別付録として、今年も全国の小・中学校約3万校に寄贈

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、代表取締役社長：及川美紀）は、これからの未来を担う10代に、ジェンダー平等や差別・偏見のない社会について考え、知ってもらうきっかけとなるように、株式会社朝日学生新聞社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：高田圭子）と共に、「10代のためのジェンダーの授業」冊子第3弾を制作し、6月下旬より、全国の小・中学校約3万校に順次寄贈いたします。

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は2022年より毎年制作。ジェンダー平等教育が求められる教育現場を中心に大きな反響があり、最近では小・中学校だけでなく、高校や大学、自治体からも問い合わせをいただき、授業やキャリア学習、セミナーなどに活用いただいています。

第3弾となる今年の冊子のテーマは、「リーダーシップ」。初めての試みとして、日本と世界のジェンダーギャップや、多様な社会の実現、性別に関係なくリーダーになれる環境のために必要なことをマンガ形式で紹介し、より視覚的にもわかりやすい構成にしました。このほか、社会全体での性別によるリーダーの割合の差や、朝日小学生新聞・朝日中高生新聞読者の小・中学生に聞いたリーダーのイメージやエピソード、進路・職業選びに潜む「無意識の思い込み」を考えるワークシートなどを掲載しています。



※「おしごと年鑑」：朝日学生新聞社のキャリア教育支援プロジェクト「おしごととはくぶつかん」が発行している教材「おしごととはくぶつかん」<https://oshihaku.jp/about-media/>

教育現場での活用事例

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は第1弾制作以来、ジェンダー平等教育が求められる教育現場を中心に大きな反響があり、総合学習など様々な授業で活用いただいています。

今回の第3弾冊子では、島根県大田市立大田西中学校が冊子を活用しながら、「他人事から自分事へ」を目標に1年を通してジェンダーや人権について学んできた授業レポートについて、紹介しました。

授業の詳細記事ページやバックナンバーにアクセスできるQRコードを掲載しています。

授業レポート

学校の中のジェンダーについて考えた

生徒の皆さんからの声

まず自分が持つ偏見の存在に気づくことが大切。

これからは個人の個性を尊重して生活したい。

授業実施校：
島根県大田市立大田西中学校

10代のためのジェンダーの授業

授業レポートの記事閲覧と、本冊子のワークシートとバックナンバーPDFのダウンロードは、右のQRコードから。

サイト記事

ワークシート
バックナンバーPDF

制作／おしごとはくぶつかん編集部 監修／斎藤万里子 デザイン／吉村 亮・大橋千恵 (Yoshi-des.)
表紙イラスト／大庫真理 マンガ・イラスト／えんびつ座 マンガ編集／橋爪玲子 写真(P.12)／大嶋千尋

監修：ジェンダー専門家 斎藤万里子様

「10代のためのジェンダーの授業」冊子は、特定非営利活動法人Gender Action Platform理事で、元国連職員、現在はフリーの専門家として国際機関やNPOなどで活躍されている斎藤万里子さんに、「誰もが能力と個性を發揮できる社会をつくるために」という想いのもと、監修いただきました。

